

平成21年度事業報告書

平成21年5月1日から平成22年4月30日まで

(特定非営利活動法人 GEMBU)

1 事業の成果

当法人の平成22年4月30日現在の会員数は、正会員69名、賛助会員29名で、昨年度から変動はありませんでした。来年度以降、会員数の増加に努める所存です。

植樹事業につきましては、今年度は、むつ市と共同で主催し、むつ市制50周年記念植樹祭と銘打ち、10月18日に、むつ市公営企業局の水源地周辺で植樹祭を開催いたしました。

前年度からの校長会への学校行事としての参加呼びかけ、教育委員会を通じた参加呼びかけを行った結果、小学校、中学校、学校関係者合わせて500名を越える参加申込があり、当法人始まって以来の700名以上の大規模植樹祭となる予定でしたが、夏から流行りだした新型インフルエンザにより、児童400名ほどが参加できなくなる事態となり、全体で300名弱の参加者による植樹祭となってしまいました。当日植樹の最中に雨が降り出すアクシデントもありましたが、宮脇先生にも例年通りご参加、ご指導いただき、むつ市公営企業局職員、むつ市職員の多大なる協力のもと、10,000本の植樹をすることができました。

10月初旬にはどんぐり拾いを実施。会員や、有志の方々と、ナラの実、トチの実を中心に拾いました。また、会員の方が個人的に拾い集めたナラ等のどんぐりも多数いただきました。これらのどんぐりを使って、10月18日の植樹祭参加者、特に児童の方々に、ポット苗作りをしていただきました。

余ったどんぐりについては、下北地方森林組合で現在使用していない苗畑にバラ植えを致しました。

今年の春は、昨年同様芽の出方が遅く、今年度中のポット苗への移植はできませんでした。また、カラスの被害などにより、発芽率が非常に悪くなりました。

年々苗の数が減少していることから、苗を育てる環境づくりをより真剣に検討していかなければならないと考えております。

来年度以降の植樹祭につきましては、学校関係に絞った植樹祭を行う計画であります。現在、学校の防災林計画が叫ばれております。下北地域におきましても、学校周辺に全く木がないところが多く、防災時に避難場所となっているにもかかわらず、避難場所としての機能が欠けている状態にあります。

また、学校に植樹をすることにより、児童、学校関係者において、植樹に対するより深い興味が起こることも期待できます。周辺住民と学校とのコミュニケーション構築にも役立つのではないかと考えてもおります。

教育委員会と話し合いをし、理解を得ながら計画を進めていく所存です。

当法人のもうひとつの事業である「鉄道文化遺産の保存」事業については、今年度も主だった活動は当法人としては行ないませんでした。当法人の正会員でもある「大畑線キハ 85 動態保存会」の方々が、今年度も引き続き定例の運転会を地元ボランティアと協力しての活動を継続して行なっております。また、前年度に引き続き様々なメディアからの取材も行われており、全国的にさらに有名な活動となっております。当法人と致しましても、今後の活動においても協力をしながら盛り上げていく所存です。

さて、今年度から当法人の新たな事業として、むつ市の市花となったハマナスの苗の栽培及びハマナスの植樹を始めることになりました。

今年度においては、ハマナスの苗作りをスタートし、8月29日にハマナスの実を採取し、民間協力者の畑にバラ植えさせていただきました。今年度中の発芽は残念ながら確認できませんでしたが、かなりの量の芽が出ると確信しております。

また、10月3日に赤川海岸において実施されたハマナス植樹にも参加いたしました。

来年度においては、ハマナス植樹の一環としての赤川海岸清掃活動、ハマナスの苗作り、ハマナス植樹祭の開催を計画しております。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
ふるさとの森 づくり事業	・ むつ市制50周年記念 植樹祭	10月 18日	むつ市公営 企業局水源 地	15名	会員、地元在 住者、小学校 児童、公営企 業局職員、む つ市職員 300名	1,417
	・ ポット苗作り関連	10月 ～ 11月	むつ市川内 他	15名	会員、ボラン ティア 15名	8
下北半島の活 性化に寄与す る事業	・ ハマナスの種採取、 バラ植え作業	8月 29日	むつ市赤川 他	23名	会員	5